

マチコレ!地域貢献ボキン 第2期募金合計額 19,553円

「NPO法人 未来の荒川をつくる会」へ寄付します!

約1年間の募金箱設置を経て3月末に集計となった第2期マチコレ!地域貢献ボキン。みなさまのお気持ちとともに、この度「NPO法人 未来の荒川をつくる会」へ寄付させていただくことが決まりました!

ボランティアによる日常的な河川清掃のほか、サイクリングロードや花壇整備、子供たちと共に魚の放流など積極的に活動されており、その取り組みについては改めてマチコレ!誌面でご紹介する予定です。地域環境について考えるきっかけとなり、郷土愛に繋がってゆけばと思っています。

第3期募金箱は現在協賛各店に設置中です。募金箱を見かけましたら、ぜひご協力ください!募金箱が設置されているのは以下のお店です。

江戸一 甲府市善光寺1-28-25 電話055-232-2484 11:00~21:30 木曜定休	牛 松 甲府市湯田1-1-8 電話055-232-3506 17:00~24:00 月曜定休	佐藤輪店 甲府市伊勢3-15-1 電話055-233-9467 7:30~21:00 年中無休	SWEETS OHANA 甲府市朝日1-6-12 電話055-253-0305 11:30~19:00(なくなり次第終了) 月曜定休
ラーメンこんの 甲府市朝日1-1-9 電話055-253-3323 11:30~14:00 17:00~24:00 日曜定休	御食事処 若駒 甲府市富士見2-5-3 電話055-252-9831 11:30~23:00 日曜定休	珈琲カムイ 甲府市丸の内3-3-9 055-228-8429 10:00~20:30 日曜・祝日定休	でんでん 甲府市丸の内1-8-12 055-228-5585 12:00~13:00 17:00~24:00 日曜定休
ドレミばん 甲府市中央1-9-7 055-222-5700 8:00~18:00(土曜は16時まで) 日曜・祝祭日定休	つるや 甲府市相生2-2-12 055-228-2901 18:00~24:00 不定休	総理屋 丸の内2-16-7 055-222-6110 11:00~14:30 17:30~21:30 土曜定休	サロン・ド・ボテ ヴェール 中央1-15-8第2丸忠ビル3階 055-237-5541 9:00~18:00 火曜・第2・3水曜定休
文化のつぼ へちま 中央2-13-20 055-236-5651 10:00~20:00 木曜・日曜・祝日定休	石川寿司 丸の内2-2-7 055-222-3425 12:00~13:30 17:00~22:30 日曜・祝日定休	呑み処 なとり 甲府市丸の内2-9-18 電話055-223-8900 17:00~22:00(日・祝21:00まで) 水曜・土曜定休	日本伝統舞踊 なごみ(和)の会 檀古 月3~8回(土)(木) 中央公民館地 電話055-232-5786 090-2401-0917 諸経費1,000円~
Slow life 甲府市朝日5-6-10 055-253-5565 10:00~19:00 水曜定休	最新情報更新中! ケータイサイトはコチラから さらに詳しい協賛店の情報は、パソコンかケータイから! http://machikore.com/chiiki		

お申し込み・お問い合わせはこちらから **ニュースコム** 0120-35-5458

春光堂
この本から街の本調子!!

11冊目 涼しい場所を探して 『離島発 生き残るための10の戦略』

NHK出版 山内 道雄(著) 700円(税別)

「ここが一番涼しいや。」銀座通りにあるベンチに腰掛けおじさんが言いました。ここはアーケードがあるために日陰で地面からの照り返しがなく、また、東西に風が吹きぬけるのでとても気持ちが良いんですよ。中心街の天然クーラーですね。全天候型で、あの大雪の時も銀座通りを守ってくれました。こんなに大きいアーケードは山梨県内を探してもここだけです。立派な地域資産ですね。そうしたら使い方だって考えてみたい所です。実は毎年夏に「まちなか読書会」と称してアーケードの下で屋外の読書会を開催しています。開放感があって最高なんです。今年は8月9日(土) 15:00~16:30です。そして今回お薦めする本は、読書会の課題図書にもなっています。この本にあるように、現代は発想の柔らかさが求められます。アーケードの使い方は無限大、甲府中心街の活用も無限大です。涼しい場所で本を読みながら、みんなで今何が必要なのかを考えて、工夫を凝らしてみませんか。お気軽にご参加ください☆

宮川大輔: 創業もうすぐ100年の本屋さん。「中心街でのお買い物にまちを元気にする!」をモットーに、本と街の魅力を伝えるべく活躍中!

銀座通りの春光堂さんに
オススメの1冊を
毎月ご紹介
いただきます。



紹介した書籍のお求めは
春光堂書店
甲府市中央1-4-4(銀座通り)

ニュースコムエリアの
お客様に限り送料無料!
0120-35-5458

アイラブ 甲府 クチコミ 情報MAP

読者のみなさんから集まるクチコミを頼りに
甲府の街の魅力をご紹介します!



これまで紹介してきた情報がケータイやパソコンで見られます。

<http://machikore.com>

WEB版は随時更新
投稿もカンタンです!

お店に限らず、
どんな話題だって大歓迎!
気軽にマチコレ!まで
情報をお寄せください。

人気小説のコミカライズ 和菓子のアン

6月に発売された、猪狩そよ先生の初コミックス。実は実家が甲府中心部という甲府出身の漫画家さんで、この度お母様にお話を聞くことができました。娘さんの初連載、初コミックスには喜びとともに「よくここまで上手く原作を再現できたな」と感心されたそう。人気小説が原作という事でプレッシャーもあったようですが、確かに可愛い絵柄も作品の雰囲気にもぴったりです。デパートの和菓子店で働く主人公と個性的なキャラクターが、和菓子の知識でちょっとした謎解きを展開する「ほっこりミステリー」。歴史、文化、季節、言葉遊びなど「知ることでもっともっとおいしくなる」そんな繊細で奥深い和菓子の世界にどんどん引き込まれていきます。読むと和菓子が食べたくなること請け合ひのこの作品、是非読んでみてください!

原作:坂木司/漫画:猪狩そよ
現在発売中の『ザ花とゆめ』にも猪狩そよ先生の読み切りが掲載中です!

中華料理店 万福楼

読者プレゼント
詳しくは裏表紙で

武田通り山梨大より徒歩3分、来年5周年を迎える万福楼は、本場のコックが腕を振るう本格中華が楽しめるお店。美味しい!安い!多い!と学生から地元の人達にまで親しまれ、いつも大勢のお客さんと賑わっています。ランチ(A・B)は日替わりで、「今日は何かな?」と心待ちにする人も多いとか。ボリュームセットの(天津飯・中華飯・炒飯)+ラーメン(醤油・とんこつ・こってり・みそ・台湾)の組み合わせも大人気。ラーメン大盛・コーヒー1杯無料も嬉しいですね♪夜のコース(予算に応じて)+飲み放題(90分全て980円!)は4名~最大50名までOK、宴会や無尽会に大好評だそうです!万福楼の美味しい料理で満足・満腹になりましょう♪



住所 甲府市武田3-7-7/TEL 055-253-8578
営業時間 昼11:30~15:00 夜17:30~24:00
年中無休



弦楽器製作工房 須藤 襄さん



20数年前、旅行で訪れたウィーンでジプシーが弾いていたヴァイオリンを格安で購入した須藤さん。表板は割れ、決して魅力ある音色ではないのに不思議と心を惹かれたそうです。後に、状態が良ければ3000万円にもなる名器と判明したのですが、修理を依頼した弦楽器製作者 飯田裕先生が言うには破損がひどく修理に耐えられないとのこと。しかし元々器用な須藤さん、飯田先生の勧めと指導のもと、以来20数年ヴァイオリン製作を続けています。現在は自宅の蔵を改装した工房を構え、音楽仲間から次々と依頼を受けているそうです。「力強くも繊細で美しい音が奏でられる」と評判だそうですよ。毎日汗を流し魂を込め、製作にいらしています。



工房連絡先 090-6155-2160

竹屋あさかわ 生クリーム大福

読者プレゼント
詳しくは裏表紙で



暑い時期なので、清涼感のある涼菓子を紹介したいと思います。幸町の「竹屋あさかわ」さんには、水まんじゅう、水ようかん、くず桜と涼菓子がたくさんありますが、私のおすすめは「生クリーム大福」!特製生クリームと素材にこだわった餡の入った、老舗の和菓子屋さんの伝統に新しい美味しさが詰まった逸品です。冷凍から室温に戻し、中の生クリームが半解凍くらいでいただくのがおすすめです。あずき、生チョコ、胡麻、カフェオレ、巨峰、チョコバナナ、抹茶、ブルーベリー、レアチーズ、いちご、桃などの定番から季節限定まであり、選んでいるうちに全種類食べてみたくなります。ぜひお気に入りの味を見つけてみてくださいね。



住所 甲府市幸町9-25/定休日 第2・第4水曜日
TEL 0120-75-2288・055-235-2288
営業時間 9:00~18:00(日祝17:00まで)



クイズ正解者に 花の鉢をお届けしました



先月号でもお伝えしたとおり、5月に開催した花と実りの苗プレゼントの当日、古新聞の入った袋の重さを当てるクイズを開催し、見事正解した方の中からニュースコム各支店ごと抽選で1名さまに花の鉢をプレゼントしました。ちなみに古新聞の重さは山梨日日新聞の創刊記念日にちなんで7.1kg。古新聞って思っているより重いんですよね。正解された中の1件に担当者とおじゃましてお話を伺いました。5月に



お選びいただいたバジルは早速お料理に活用されているそう。へちまは2階のベランダで緑のカーテンとしてすくすく成長中。お選びいただいたブーゲンビリアの5号鉢もちょうどピンクの花がきれいで喜んでいただけました。



夏休み親子新聞教室

半日で自由研究が
できちゃうよ!

参加
無料

先着
16組
限定

～親子で新聞に親しみながら楽しく自由研究に取り組もう～

日時 **8月10日(日)**
13:00～16:30

場 所:株式会社ニュースコム本社 2F 会議室
甲府市相生2-15-1
持 ち 物:マジック・はさみ・のり・筆記用具
対 象:小学校の児童とその保護者
募集定員:16組

どんなことをやるの!?

新聞を利用した自由研究講座です。子供達は用意された新聞を元に、自分の興味のある記事を切り抜いたり、天気図のデータから気温のグラフを作ったりと、思いおもしろい研究に取り組んでもらいます。

気になった
ニュースを
追いかけて
みる

新聞から
好きな写真や
記事を切り
抜いてみる

新聞の
楽しみ方や
新学習指導
要領の話を
聞く

自由研究が終わるころには、きっとニュースに対していろいろな見方や考え方ができるようになっているはず。なんとと言っても自由研究が半日で終わるし、自分自身もとても成長できるんだ!こんなチャンスは他にないよ!

参加者全員に
うれしい
プレゼント
もあるよ!

お申し込み・お問い合わせはこちら ※予定数に達し次第、受付を終了しますのでご了承ください。

ニュースコム ☎ **0120-35-5458**

ケータイからも応募ができます!!

メールの件名に「新聞教室」、本文に①住所②保護者名③連絡先電話番号④参加人数を明記の上、info@machikore.comまでお送りください。



さあ、今すぐ
申し込みよう!



第11回甲府市女子9人制ふれあいバレーボール大会 第7回ニュースコム親善バレーボール大会

今年も6月29日に、甲府市家庭婦人バレーボール連盟・株式会社ニュースコム主催のバレーボール大会が開催されました。

今年は、なんと26チーム参加でA、B、Cの3パートに分かれて対戦し、各パートで優勝チームが決定。猛暑の中、体育館の中は選手や応援のみなさんの熱気でさらにヒートアップ!レベルの高い試合が繰りひろげられました。

ニュースコムは地域のコミュニティやイベントなど、地域が元気になることをこれからも応援していきます。みなさんおつかれさまでした。また来年!



各パートの最終結果

	Aパート	Bパート	Cパート
優 勝	後屋レディース	ルーキーズ	円満寺
準優勝	北東自治会	関口自治会	大里みなみ

今年も、参加賞でご協賛いただきました。ありがとうございました!
ガイドードリンコ株式会社様/ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ様

みんなのアンケート広場

このコーナーはみなさんからいただいたアンケートハガキをもとに作っています。
みなさんのお便りが頼りです!!

今回のテーマ あなたの近所を紹介してください。

甲府市下飯田 40代 女性
近くにヴァンフォーレの寮があります。選手がよくいくというお店もたくさんあったり、コンビニでお見かけすることもあります。
おお!親近感湧きますね!

甲府市相生 60代 男性
近くの産婦人科医院ですが、いつも7時ごろから10人以上の人が並びます。診療の順番取りがそうです。出産も大変ですね〜若い人達ががんばってください!
それ大変だ!がんばってください!

甲府市千塚 60代 女性
ちょっと歩いたところにあるYさん宅。春はスミレ、夏はペチュニア、冬はイルミネーション...とはなばでない玄関前。道を通るのが楽しみです。隣のお宅もまけじと飾っているところが、私たちの見学スポットになっています。
そういう近所の期待も分かっているんでしょうね!

甲府市千塚 70代 女性
千塚の交差点より昇仙峡方面に向けて道路拡張及び電線埋没に向け様変わり中です。
山いっぱいの山梨は景観を大事にしないとですね。

甲府市城東 60代 女性
昭和20年前後生まれが多いこの町内、時々、一品はしおきの夕食のおかずが届きます。
こういった交流、確かに最近では珍しくなりました。

甲府市東光寺 20代 女性
～近所の家のピアノの音色～
たどたどしいけど、一生懸命練習しているんだって、いつもほほえましく思えます^o^
上達していく様子も楽しみ!

笛吹市石和町唐柏 60代 男性
僕の家の近所にある常在寺という日蓮宗のお寺には、江戸時代に活躍した竹居のども安(竹居安五郎)のお墓があります。竹居のども安は、波乱の人生を送った人物として有名です。
甲州博徒の大親分ですね!

甲府市朝気 70代 女性
熊野神社
1日には「1日もうで」もあり、悲しいこと喜ばしいこと、すべて、報告しています。心のよりどころということでしょうね。
神社って本来そういう存在なんだな〜と改めて思います。

甲府市富士見 30代 女性
近所のお家のアンテナはミッキーの顔でかわいいよ
ご近所中で「ミッキーの家」とか呼ばれてそう!

甲府市塩部 70代 女性
近くには湯村山・白山・緑が丘公園があり、孫が来ると遊び場に、自分の体力づくりにウォーキングに、今は新緑の中楽しく歩いています。四季おりおり花もきれいに咲きます...よ!

良い環境だ〜(*^o^*)

甲府市東光寺 20代 男性
庭園がきれいな東光寺があります。また、善光寺もあり、一度に有名な寺を見学できます。
住所にまでなっている、町のシンボルですね!

住所にまでなっている、町のシンボルですね!

甲府市元細屋町 40代 女性
近所にある宮前町の八幡神社は、ちょっぴり山歩きをしたり、池でザリガニつりをしたりと子供たちに自然遊びをさせられる穴場スポットだと思います^o^
神様が見守ってくれていそうですね('▽')

ご近所を
良い所だ〜と紹介できる
のは幸せなことですね!
いただいたお便りは
ちゃんと全て目を通します。
来月もたくさんのおたよりを
待っています。



甲府市太田町 50代 女性
お年寄りの多い町で、いつも外にイスを置いて座りながらおしゃべりをしています。子供達の登下校を見守っていてくれて、安心です。
地域の安心は地域の人が作る☆

このマチの交通危険ポイント!

ニュースコム社員が日頃感じている、街の危険箇所をお知らせします。



湯村3丁目 甲府水道道
甲府市湯村3-12付近

水道道は便利で利用者の多い道ですが、すれ違いが難しいほど細い道です。この交差点は家や塀によって左右の見通しが悪く、止まれの標識があってもほとんどのバイクや車が止まりません。すぐ側には和泉愛児園がありますし、朝や夕方は通学途中の学生も通るので注意が必要です。きっとハッと思った人は多いと思います。この交差点では必ず一旦停止し、左右を確認してから進むようにしてください。



ニュースコムでは地域のみなさんが安心して暮らせる街づくりに取り組んでいます。



マットシレシとは…

山梨のことを「もっと知ってほしい」という気持ちを、山梨の文化の象徴である甲州弁に、フランス語のような発音をイメージしてプラスし、タイトルとして表しました。わたしたちは『見方をひとつ変える』だけで、野暮なことも粋に感じたり、自然の恵みや誇れる文化に囲まれ、暮らしている幸せに気づけるはず…そんな想いがこめられています。

川上 明彦 プロフィール

株式会社ニュースコム代表取締役。地域貢献活動を通じて、地域に必要とされる企業とは何かを探索中の40歳。



甲府空襲

旧町名を復活させたいという思いから、先月号で昭和の大合併前の町名をご紹介しますところ、大勢の方から好評をいただきました。その後も、時間を見つけては図書館で調べたり、詳しい方にお話を伺ったりしているのですが、その際に必ず出る話題と目に付く写真は甲府空襲。7月6日(日)付の山梨日日新聞で、甲府空襲の体験者が当時のことを語る記事が掲載されていました。

記事中の4名の方達は当時子供だったにも関わらず、その時の様子を鮮明に覚えているようです。もちろん私は戦争を体験したことがない世代ですが、空襲後の甲府の写真は何枚も見た後に読んだ記事は、自分の体験のように空襲の映像を思い浮かべさせ、恐ろしい気持ちになりました。

甲府が空襲されたのは昭和20年7月6日。蒸し暑い夜

の11時54分。愛宕山方面に落とされた爆弾から始まりました。空襲警報のサイレンが鳴り響くも、B29が落とす焼夷弾が落下する音と地上で炸裂する爆発音でかき消され、甲府市の中心部は30分たらずで火の海と化したそうです。市民は為す術も無く炎は燃え続け、白壁の土蔵が立ち並んでいた甲府城下町の風景はひと晩で焼け野原となりました。(写真①)

空襲直後の甲府市戦火状況調査書では、甲府市の全戸数が25,898戸で、そのうち空襲の被害を受けた戸数は18,094戸。被害者数は86,913人、そのうち死者740人、重傷者345人と記録されています。しかし、昭和49年に行われた市の再調査では、死者・行方不明者は総計1,127人と分かり、そのうちもっとも被害が大きかったのが湯田地区の427名でした。

当時の日本は劣勢だったことを国民に隠していました

が、この甲府空襲があった翌日も大本営は「我々ノ損害軽微ナリ」と発表をしているようです。当時の甲府市民はこの発表を聞いてどう思ったのでしょうか？

甲府空襲について調べれば調べるほど、戦争は恐ろしいと感じます。そして、もっと当時のことに関心を持ち、当時を知る人たちの話を聞き、後世に伝えていく努力が必要だと改めて感じました。そして、もうひとつ感じたこととして、戦争の恐ろしさや焦土と化した甲府の様子と同時に伝えていきたい「誇り」を見つけました。それは、逆境から這い上がって来た甲府市民のバイタリティーです。

写真②は昭和22年に撮影されたものですが、戦後からわずか2年でこれだけの住宅が立ち並んでいます。もうひとつは(写真③)昭和24年に撮影された甲府中心街ですが、本当に空襲があったのかと疑うほどの復興ぶり、岡島百



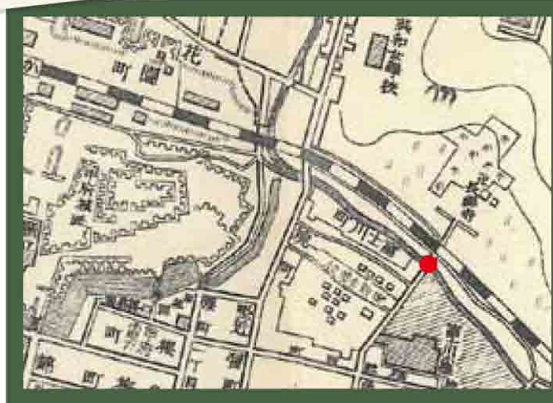
貨店の左横には建設中の山梨中央銀行がうかがえます。

どうやら空襲で焼けた約18,000戸の家屋のうち、約4割が1年以内に再建されたようです。きっと当時の人達は目の前の苦難に真っ正面から立ち向かい、その先にある輝かしい未来を本気で信じてがむしゃらに進んで行ったのでしょう。なんだかそれを考えると、とても誇らしく思えますし、今の我々にはそのバイタリティーが足りないように思えます。

私が旧町名を復活させたいと思うのは、町の名前をきっかけに歴史を知ること、自分が生まれ育った町に「誇り」を持てると考えたからです。そして、誇りが持てれば自然と自慢をしなくなりますし、後世にも伝わっていくのだと思います。甲府空襲に関しても、恐ろしさや悲しい話だけでなく、焦土から復興させた先人達のバイタリティーを誇りを持って伝えていきたいと思っています。



ittemirosshi



甲府空襲で殆どが焼けてしまった甲府市中心部ですが、残ったモノもいくつかあります。そのうちのひとつがこの蛸橋で、昭和4年竣工と書いてあります。この辺りは前月号でご紹介した元祖八日町に当たるところなのですが、昭和4年当時は富士川町でした。中央線が開通する以前は、長禅寺の参道だったのでしょね。今もこの橋は現役として活躍していますが、戦前のモノは貴重ですので大事に使っていききたいですね。